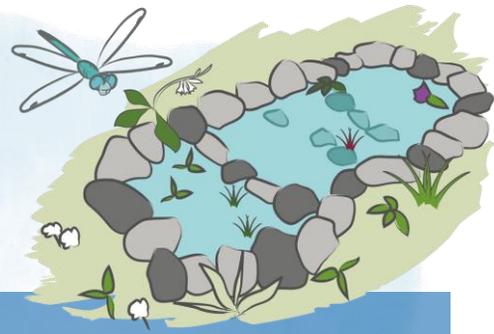


# 加賀電子ビオトープ NEWS

- 第3号 - 2023年9月の調査報告



## \* TOPIC \*



種類はまだ不明

### イトトンボ類の幼虫

まだ幼い個体だったので種類の確定には至りませんでした。体の特徴からアオモンイトトンボかアヅアイトトンボの可能性が高そうです。



### しっぽ(尾鰭)の拡大写真

イトトンボ類の種類を特定するための重要なポイントの一つがしっぽの形状。正確には尾鰭(びさい)といい、呼吸器官だと考えられています。

## イトトンボがやってきた!

加賀電子ビオトープで5種類めのトンボが見つかりました。それはイトトンボ類の幼虫! イトトンボ類は体が華奢で飛ぶ力が弱いため、ビル街を越えて来るのは難しいだろうと思っていたのですが、自力で飛んできて、ビオトープに産卵してくれました。

## \* 今回の調査で見つかった生きもの \*



タマガツリ



エノキグサ



成虫



ショウジョウトンボ



ダンダラテントウ



幼虫

オオシオカラトンボの抜け殻(たくさん)

前回見つかったトンボの幼虫の種類は、ショウジョウトンボと確定させることができました。ビオトープ内には本種が多く生息していました。また、オオシオカラトンボの抜け殻もたくさん見つかりました。加賀電子ビオトープには、肉食性のトンボ類の餌となる生物がそれだけたくさんいます。そして、それらの生物は食物連鎖で繋がり、小さな生態系が出来上がりつつあります。

## \* COLUMN \*

真冬の池の底で眠っていたトンボの幼虫たち/  
(都立武蔵国分寺公園の例)



これからも地域の自然を大切に、人と自然がずっと仲良く暮らしていける社会を作っていきましょう!

## 生きものの冬越し

寒い冬は、生き物にとって試練の季節です。それをやり過ごすために冬眠するものがいれば、秋にため込んだ食料で乗り切るものもあります。昆虫にとっては、どの成長段階で冬越しするかが1つのポイント。カマキリは卵で、アゲハチョウは蛹で、多くのテントウムシ類は成虫で冬眠状態となって冬越しします。トンボの中で最もメジャーなのは幼虫での冬越しです。10月が終われば、加賀電子ビオトープの水の中でもトンボたちが冬越しの準備を始めることでしょう。



調査・監修  
NPO birth 久保田 潤一

発信:加賀電子(株) IR・広報部